



ハートフルナース

JAMNA再受験支援 プログラム本格始動

大きなハードルを
越えるために

昨年度の反省点である日本語の読解力向上と問題の意味や解説の理解及び自己学習時間の確保のため、今年度は早くから学習会をスタートしました。

再受験プログラム説明会の開催

5月21日(土)にジャカルタのスナヤン地区にて今年度の再受験プログラムの第一回説明会を開催しました。日本人元看護師ボランティアの方々も昨年度学習を支援した経験から、問題をよく理解し、わかったつもりにならないこと、受け身ではなく自分で考えて学習する時間を確保し、質問を持ち寄ることの大切さについてお話下さいました。

6月26日(日)の第二回説明会では、准看護師として働きながら看護師国家試験に合格した経験を持つボランティアの方が、仕事や母親としての役割を果たしながら忙しいことを口実にしないで学習を続けていく大切さを伝えてくれました。参加者たちは、現在の日課(仕事のある日、休みの日)で24時間の過ごし方を円グラフに記入しながら、どこで学習時間の確保ができるかを考えていきました。ボランティアの方々もマンツーマンで相談に乗り、再受験者の日頃の生活状況を知ることが出来たようです。

通勤に3時間掛かる方は、朝早く職場に着くので就業開始前に勉強できる場所を探してみたり、子持ちの方は子供

が遊んでいるときに勉強するなど、個々の生活スタイルに合わせて工夫しているところの姿勢がみられました。

一次選抜試験の実施

合格率UPに向けて

8月14日(日)には、南ジャカルタにあるミエ学園で一次選抜試験(必修問題と日本語能力検定N2・N3レベル)を実施しました。

14名が一次選抜試験に参加し、審査の結果、一次試験通過者は、『5名』となりました。

ルビがふられていない問題でも、日本人とほぼ同じペースで問題を読んではいましたが、期待値ほど点数は伸びませんでした。少し学習を休むと、すぐに点数は大きく下がるようです。

何年かかっても日本で働きたいという強い希望はあるものの、仕事をしながら、どこまで本気で学習に取り組めるかが今後のカギになりそうです。

今年度は、日本人元看護師ボランティアの方々も9名参加して下さいます。支援する側で話し合いながら個々の得意分野を活かして学習を進めていく予定です。



一次選抜試験に取り組む参加者たち

ボランティアの方々にとって、インドネシア人看護師の質問を受けることによって考え方や看護の違いなどについて考えるきっかけになって欲しいと願っています。

一次選抜を通過した5名は、月2回ずつ開催する学習交流会に参加し、10月末に二次選抜試験に臨むこととなります。日々の学習継続のため意欲が低下しないように支援していきま